

中田かわら版 8月号

～中田地区の地域活動をお知らせします～

発行：中田連合地区経営委員会

協力：中田連合自治会 泉区役所

制作：中田かわら版制作編集委員会

横浜市踊場地域ケアプラザ

■この人に会いたい<36>



認知症キャラバンメイト 介護福祉士

やま であかひろ

“闘魂、介護士 山出貴宏さん (40) 中村

平成 27 年 4 月、泉区役所で認知症キャラバンメイト研修会が開かれた。テーマは「認知症介護の最前線」。泉区キャラバンメイトや区高齢者・障害支援課の職員約 50 名が講演に聞き入っていた。「認知症の症状があっても、分かる事・出来る事は沢山ある。分からない・出来ない・危ないは誰が決めたのか？例え、病気や障がいがあってもサポート次第で可能性は沢山ある。出来るからのサポートが大切」と話したのがこの時の講師山出さんだ。

山出さんは、株式会社 NGU（生活維持向上倶楽部「扉」（地域密着型通所介護）・生活維持向上倶楽部「心」（訪問介護）・「ステップ」（介護研修事業））の代表取締役の他、NPO 法人認知症フレンドシップクラブ横浜事務局代表・NPO 法人横浜市地域密着型通所介護事業所連絡会/D-net 横浜 理事/会長・日本認知症ワーキンググループパートナー他などでも活動している。活動の拠点は、中田東 3 丁目の「扉」だが、事業所内で成果が出ている「介護技術」・「認知症ケア」の講演・セミナー・研修の依頼があり全国各地を飛び回っている。

NGU とは、Never Give Up の頭文字からなり「どんな環境になっても諦めることなく、メンバーさん・ご家族と共に歩む」との思いで、「扉」・「心」とも「ご自宅生活の維持」の為のサポートを本気で考えて行く決意がある。（法人ではご利用者を「メンバーさん」、職員を「パートナー」と呼んでいる）独立の理由は、特別養護老人ホームに勤めていた際重度化していく現状や関わり方に疑問を感じ、認知症・介護技術の根拠を学び、「従来の間違った介護の現状を打破しなければ」と、感じ勢いで独立されたとの事だ。

「扉」は、元歯科医院を改修している。室内環境や活動内容は従来の介護事業所のイメージとはかなり異なり、脳トレやレクは基本的には行わない。介護本来の目的である「生活を営む」事への関わりに重点を置き「座位姿勢・歩行姿勢・立ち上がり動作」から徹底して関わり、「自律支援」を行っている。そこには、メンバーさん一人ひとりに向き合ったサポート・関わりがある。伺った際も、メンバーさんは各々に活動されていた。お茶を出してくれたのもメンバーさんだった。活動は、認知症をお持ちの方、脳梗塞の後遺症で麻痺が残ってしまった方も「出来る事」「やりたい事」を実行し、その中で「持っている能力・潜在している能力を適切に発揮」出来る関わり・サポートを行っている。山出さんは、能力を最大限に使う事は二次障がいに移行している現状を知るべきとも話されていた。成果として、介護度の改善（例 要介 4→要支 2・要介 3→要介 1 他）や 5 年間状態の維持・介護サービスからの卒業、ご自宅生活の維持・向上に繋がっている方も多し。その事が専門誌やメディアにも取り上げられていて、全国から見学・体験の問い合わせも多くある。

現在は、「認知症になっても暮らし続けられる街」のために何をすべきかを考え意欲的な活動もしている。山出さんは、“闘魂、介護士とも呼ばれ、趣味で和太鼓もやっている。多才な山出さんは若きリーダーとして地域にも大きく貢献している。

(宮田貞夫)



～一人ひとりが CO₂ を減らす努力をし、美しい地球を子どもたちに残そう！～

9月のイベント

このチラシの情報をより詳しく知りたい方は、踊場地域ケアプラザ 葛西（かさい）まで問い合わせください。

TEL 801-2114 FAX 801-2923

【平成 29 年度敬老会】

日程 9月18日(月)祝日
 式典 12:30~13:00
 演芸 13:00~14:30
 場所 中田小学校体育館
 対象 満75歳以上の方
 内容 中田中学校PTAコーラス
 舞踊・民謡
 中田中学校吹奏楽部

【中田御霊神社例大祭】

▶9月24日(日) 本年は西方面を順路とする神輿渡御、及び山車曳です。鳥居前道路の歩行者天国化は10:00~22:00です。

☆10:00~例大祭式執行

☆11:45~御神輿の宮出し

☆12:00 御神輿・山車曳き出発

☆18:30 御神輿宮入り



〈順路〉神社→第一御旅所・中田中学校(13:20)→第二御旅所・和泉第二公園(14:20)→第三御旅所・中下青少年広場(15:40)→第五御旅所・中田小学校(16:55)→第六御旅所・中電時駐車場(17:45)→神社(18:30)

■健康シリーズ4 早期発見・早期治療が大切！

「認知症の早期発見チェックリスト」

認知症を放っておくと、症状をどんどん悪化させてしまいます。早期に治療を受ければ進行をゆるやかにすることができます。診察を受けるのは、かかりつけの医師か認知症の専門医(医療機関の老人科・精神科・神経内科など)に。または保健所などの相談窓口を利用するとよいでしょう。

以下は、「できる」を1点として計算してください。

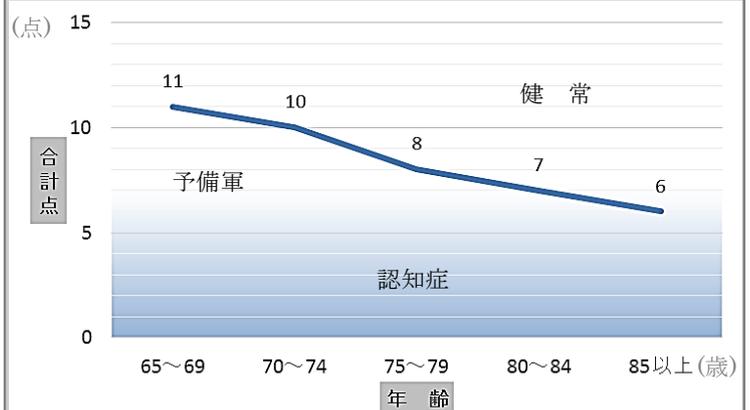
- 自分で電話番号を調べて、電話をかけることができる
- リーダーとして、何かの行事の企画・運営を行うことができる
- 何かの会の世話係や会計係を務めることができる
- ひとりでバスや電車を利用して、あるいは車を運転して出かけることができる
- 見知らぬ場所へ、ひとりで計画を立てて旅行することができる
- 薬を決まった分量、決まった時間に飲むことができる
- 貯金の出し入れや家賃・公共料金の支払い、家計のやりくりなど、家計を管理することができる
- 日用品を買いに行くことができる
- 請求書の支払いをすることができる
- 郵便貯金・銀行預金の出し入れをすることができる
- 年金や税金の申告書をひとりで作成することができる

- 食事の用意をすることができる
- 掃除をすることができる
- 洗濯物・食器を整理整頓することができる
- 手紙や文書を書くことができる

合計 点

東京都老人総合研究所

下の図で、合計点と交わったところをチェックしてみましょう。また、家族の方に採点してもらって5点以下だった場合も認知症の可能性がります。



「中田白百合地域情報サイト」にて地域の最新の情報や、かわら版バックナンバーなどを調べることができます。www.odoriba-cp.jpへアクセス！！